

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公表番号】特表2018-501054(P2018-501054A)

【公表日】平成30年1月18日(2018.1.18)

【年通号数】公開・登録公報2018-002

【出願番号】特願2017-551381(P2017-551381)

【国際特許分類】

A 6 1 M 27/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 27/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月11日(2018.12.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

陰圧閉鎖療法用に構成されているポンプシステム(100)

であって、

アクチュエータ(600)、および

ダイアフラム(550)を備える

ポンプアセンブリ(400)と、

前記ポンプシステムの動作を制御するように構成されているコントローラとを具備し、
前記コントローラは、

駆動信号を前記ポンプアセンブリに印加し、前記駆動信号は正の振幅と負の振幅とを
交互にとり、前記駆動信号はオフセットを有し、

1以上の時間間隔の間に、創傷を覆って配置されるように構成されている創傷被覆材
に前記ポンプアセンブリを接続するように構成されている流体流路内の圧力をサンプリングし、
1以上の前記時間間隔のうちの各々は、前記駆動信号が近似的に、1以上のサンプリング振幅に等しい振幅であるときに生じる、ようにさらに構成されるポンプシステム。

【請求項2】

前記サンプリング振幅は、前記振幅の極大値を含む請求項1に記載のポンプシステム。

【請求項3】

前記サンプリング振幅は、前記振幅の極小値を含む請求項1または2に記載のポンプシ
ステム。

【請求項4】

前記サンプリング振幅は、前記振幅のゼロ交差を含む請求項1から3のいずれか一項に
記載のポンプシステム。

【請求項5】

前記サンプリング振幅は、前記振幅のオフセット交差を含む請求項1から4のいずれか
一項に記載のポンプシステム。

【請求項6】

前記コントローラは、1以上の時間間隔の各々において少なくとも2回前記圧力をサン
プリングするようにさらに構成される請求項1から5のいずれか一項に記載のポンプシ
ステム。

【請求項 7】

前記コントローラは、各時間間隔の間の圧力サンプルを平均するようにさらに構成される請求項 6 に記載のポンプシステム。

【請求項 8】

前記コントローラは、圧力サンプルに基づき前記駆動信号の少なくとも 1 つのパラメータを調整するようにさらに構成される請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載のポンプシステム。

【請求項 9】

陰圧閉鎖療法用に構成されているポンプシステムを制御するための方法であって、駆動信号を前記ポンプシステムのポンプアセンブリに印加するステップであって、前記駆動信号は正の振幅と負の振幅とを交互にとり、前記駆動信号はオフセットを有する、ステップと、

1 以上の時間間隔の間に、創傷を覆って配置されるように構成されている創傷被覆材に前記ポンプシステムを接続するように構成されている流体流路内の圧力をサンプリングするステップであって、1 以上の前記時間間隔のうちの各々は、前記駆動信号が近似的に、1 以上のサンプリング振幅に等しい振幅であるときに生じる、ステップとを含み、

前記ポンプシステムのコントローラの制御の下で実行される方法。

【請求項 10】

前記サンプリング振幅は、前記振幅の極大値を含む請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記サンプリング振幅は、前記振幅の極小値を含む請求項 9 または 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記サンプリング振幅は、前記振幅のゼロ交差を含む請求項 9 から 11 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 13】

前記サンプリング振幅は、前記振幅のオフセット交差を含む請求項 9 から 12 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 14】

1 以上の前記時間間隔の各々の間に、少なくとも 2 回前記圧力をサンプリングするステップをさらに含む請求項 9 から 13 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 15】

各時間間隔の間の圧力サンプルを平均するステップをさらに含むかつ、または、
前記圧力サンプルに基づき前記駆動信号の少なくとも 1 つのパラメータを調整するステップをさらに含む請求項 14 に記載の方法。